

「いちご一会とちぎ国体」へ出場!



2022年10月1日(土)～11日(火)に栃木県で開催された「いちご一会(いちえ)とちぎ国体」へ、本学から6名の選手が各県を代表して出場しました。

写真左から、柔道部の南波大成(法学部2年・島根県)さん、大森寛太(経営学部3年・岡山県)さん、ボウリング部の村上愛実(経営学部2年・岡山県)さん、小松侑誠(経営学部2年・兵庫県)さん、陸上競技部の林頼人(法学部4年・島根県)さん、松浦大雅(経営学部2年・島根県)さんです。

代表して、ボウリング部の小松さんから感想をいただきました。

「いちご一会栃木国体」兵庫県11年ぶりの出場とベストチーム

私は栃木国体ボウリング種目に参加しました。なんと、兵庫県の成年男子は本国体に11年ぶりの参加でした。本国体に出場するには兵庫県の代表選考会で上位4人に入り、近畿ブロック大会で6県中上位3位に入らなければいけません。近畿ブロックではやはり強い選手が多い県が沢山あるので、なかなか兵庫県は勝ち上がることが困難でした。今年こそはと、チームで練習量を増やしたり、県外合宿を行ったりしながら、チームの絆を深めブロック大会にのぞみました。個人戦ではポイントを取る事が出来ませんでしたが、ダブルス・4人チーム戦で一気に追いつけることができブロック大会を3位で通過することができました。本国体は独特の緊張感、雰囲気がありました。全国各地から集まった選手のボウリングに圧倒されて個人戦では緊張感にのまれ、なかなか自分のボウリングを発揮することが出来ませんでしたが、ダブルス・4人チーム戦では自分がチームを引っ張っていくんだという強気な心で戦うことができました。この強気な心がチームワークへと繋がり点数にも繋がったと思います。とても良い経験が出来たので、今年の鹿児島国体に参加できるようにもっとレベルアップしていこうと思います。

(経営学部商学科2年 小松侑誠)

CONTENTS

<商大トピック>

- 備前市三国地区農泊モニターツアー
- シイタケ菌床を中心としたSDGs教育
- 総社市インターンシップ成果報告会
- 「ベストリーダー2022」受賞

<情報アラカルト>

- 吉備学園コンサート2023
- 2023年4月始動「岡山商科大学ベンチャー支援制度」
- 「楽しい大学生活を過ごそう」企画
- 2022年度サークル活動戦績

商大 トピック

Topic 1

令和4年度瀬戸内市インターンシップについて

2022.8.22-9.2

本学は、瀬戸内市と2011年に包括協定を締結し多くの連携事業を行ってきましたが、公務員を志望する学生の希望に応えるため、2022年6月、新たにインターンシップに関する覚書を締結しました。

それを受け、瀬戸内市でインターンシップに参加する学生を募集したところ、2名の学生から応募があり、令和4年8月22日(月)～9月2日(金)の土日を含んだ10日間の日程で参加しました。インターンシップでは、瀬戸内市全体の概要や、主要事業等について学んだ後に、総合政策部企画振興課で政策調整や地域振興業務等を行った他、福祉部いきいき長寿課で高齢者支援業務等に従事しました。

インターンシップ終了後に、瀬戸内市から示された実施評価書では2名の学生共に、実習の態度、意欲、成果いずれの項目でも「A:大変良い」との評価をいただきました。受け入れ先部署からのアンケートの満足度調査でも、全ての項目で「満足」との回答がありました。

(産学官連携センター)

Topic 2

瀬戸内市・発想法ワークショップについて

2022.8.26

瀬戸内市役所入職5年目の若手職員19名の研修として、ブレインストーミングとKJ法のグループワークを内容とする「発想法ワークショップ」を、2022年8月26日に実施しました。このワークショップは商大講座として2013年から継続されていますが、そこに学生が入るというのがミソです。今回は市役所でインターンシップ中の2名を含む計6名の学生が加わり、午前の部のブレインストーミングからスタートしました。「あったらいいな、こんなまち♡」をテーマに、それぞれ思いの表現したいまち、理想のまちを言い合っていました。どのグループも盛り上がり、「ジェットコースターで移動できるまち」、「副



業可能な公務員のまち!」などユニークなアイデア(発想)がカードに書き込まれていきました。午後からはKJ法でそれらアイデアを分類していきます。1枚のカードが語る意味内容はいかにも解釈でき、皆で検討しながら一つ一つ模造紙上に分類していきました。最後に、出来上がった成果物をグループごとに発表しました。学生たちは初ワークショップでしたが、職員たちに臆することなく堂々と意見を出せていましたので、大きな収穫となった1日に違いありません。

(経営学部 教授 三好 宏)

Topic 3

備前市三国地区農泊モニターツアーについて

2022.9.4-2023.2.24

本学では2018年度から、中国四国農政局が行う「農泊(日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ農山漁村滞在型旅行)」事業推進のため、モニターツアーに参加し、観光商品の改善に向けた提言を行っています。



備前市三国地区農泊振興協議会との事業は2021年度から開始し、2022年度も継続しています。2022年9月4日に農泊体験商品化セミナーとして、備前市日生の「ひなせうみらぼ」でおこわの販売体験を実施、9月8日には備前市八塔寺でおこわ作り体験を行いました。10月7日、8日には一泊二日のモニターツアーに参加し、海ごみを使用したアートクラフトづくりと島めぐりクルーズを体験した後、八塔寺コテージに宿泊、翌日は、おこわ作り体験と試食、果物狩りと芋ほり収穫体験を行いました。ツアーの最後には、プロの観光関係者とともに意見交換をおこないました。

また、関連事業として、備前観光協会が委託制作するPVの撮影が11月12日に行われ、事業に参加する学生4名が出演者として協力しました。ドローンも使用した本格的な撮影で、学生たちはディレクターの指示に、自然な表情や活き活きとした演技で応え、八塔寺の良さを十二分に伝える、魅力的な動画が完成しました。

学生たちはこれらの経験をもとに観光ツアー商品を検討するために何度もミーティングを重ね、最終的に農泊とプロカメラマンによる撮影を組み合わせたプランを考え、2023年1月27日に岡山市内の各旅行代理店でプレゼンテーションを行いました。そこでいただいた意見を元にさらにブラッシュアップを行い、2月24日に、八塔寺で最終商品案を発表し、高い評価をいただきました。

(産学官連携センター)

Topic 4

同窓会会員による講演会について

2022.10.27

2022年10月27日(木)午後3時～4時30分、本学法学部1年生対象同窓会主催によるOB講演会が開催され、100名の参加者がありました。

今回、本学12期生、奥田右文(おくだみぎふみ)さん元福山警察署長(警視正)を招いて、「最近の治安情勢と対策」について講演をいただきました。

奥田さんは学生時代本学少林寺拳法部に所属され、警察官になるための準備として、アルバイトを含め、教職課程も取得されており、警察官となった後にそのことが活かされ、警察学校刑務官、警察学校長に就任されその後、警察署長まで就かれました。

講演の中で、警察官時代に多くの失敗したことが活かされたことが財産となり、今の糧になったとのことでした。

自らのモットーは「行動力は誰にも負けないように」を今現在も実行しており、後輩学生に対して、置かれたところで行動力を発揮してもらいたいと同時に目的意識を持ち、何かに取り組む時には、効率的で効果の上がる手法を取ってほしいと問いかけられ講演を終えられました。

同窓会講演会は、同窓会活動の一環として年2回開催する予定であり、機会があれば講演会に参加いただければと思います。

(同窓会事務局 仁科昭宣)

Topic 5

シイタケ菌床を中心としたSDGs教育

2022.11.10

シイタケなどの食用キノコでは、木材の削りくずとフスマを成型した菌床ブロックを使用してキノコ栽培が行われています。シイタケを採取した後の菌床(廃菌床)は、生産効率の点から廃棄されるのですが、これまではその多くが産業廃棄物として処分されていました。キノコ類の生産を行っている浅野産業株式会社と筆者は廃菌床の有効利用等について研究を行ってきました。今回、玉野市立荘内南幼稚園の協力を得て、廃菌床の土への埋め込みからスタートし、生育してくるシイタケの観察と採集、採集後の廃菌床をカブトムシ幼虫のエサおよび住みかとして利用、さらに野菜栽培の堆肥として使用するというプロジェクトを実施しました。菌床がいろいろな生物の生きる環境として循環していくことを学習する幼稚園行事を昨年11月に開催し、園児たちがSDGsの意識づけをしてもらうことができ、新聞やTVニュースにも取り上げられました。今後は小、中、高等学校でも各段階に合わせたレベルでの循環型社会実現のためのSDGs教育を実施していきたいと考えています。



(経営学部 教授 小松原実)

Topic 6

北木島農泊モニターツアーについて

2022.11.25

中国四農政局との連携事業:農泊モニターツアーが、11月25日に笠岡市北木島で実施されました。石の島である北木島は、笠岡



諸島が日本遺産に選ばれたのに合わせ、近年観光に力を入れています。島の牡蠣養殖も軌道に乗り、「喜多嬉かき」の名で新たな産品になりつつあります。ツアーは5名の観光関係者に混じり、日本人韓国人2名ずつの学生が参加しました。笠岡港から船で牡蠣いかだまで行き、船上で牡蠣を試食しながら作業を見た後、島に上陸。石切りの歴史展示があるストーンミュージアム、採石場跡に水がたまり出来た丁場湖と湖上ステージ、旧映画館光劇場など島の名所を、グリーンスローモビリティ(電動車)で巡っていきました。お昼に出された笠岡ラーメンは鯛の出汁が入り、深い味を醸し出していました。圧巻は、地下へ地下へと掘り進めて100m以上の絶壁となった採石場を見下ろす景色。鉄骨の展望台は耐震構造で揺れるようになっており、スリル満点の体験でした。最後に笠岡港の交流センターで、学生たちは意見を関係者の前で堂々と述べました。留学生2人も韓国人にも楽しめる内容と流暢な日本語で語りかけ、参加者から感嘆の目をもってその意見を聞いてもらえました。

(経営学部 教授 三好 宏)

Topic 7

法科大学院PR講演会を開催しました

2022.11.29

2022年11月29日(火)に「判例講読」の講義を1コマ利用して、弁護士による講演会を開催しました。これは法科大学院進学希望者の増加に向けた、岡山弁護士会によるPR活動として行われたものです。

講演会では、まず原田優弁護士(兵庫県弁護士会:法学部2011年卒)が弁護士業務の魅力について、①収入、②社会的信用、③時間の自由、④弁護士しかできない業務(独立業務)の4点を挙げられました。また、安彦俊哉弁護士(岡山弁護士会)もサラリーマンと比べたときの弁護士の利点として、①転勤や倒産のリスクがなく、独立も可能であること、②スケジュールを自分で決められること、③働くほど収入が上がることを指摘されました。

今回は法学部生40名が講演会に出席しました。受講者からは「本日の講演会で少しは弁護士という仕事に興味を持つことができて非常にいい機会になりました」となどという感想が寄せられました。

(法学部教授 白井 諭)

Topic 8

犯罪被害者ご遺族による講演会を開催しました

2022.12.7

12月7日(水)、本学犯罪被害者支援部つぼみの主催で、犯罪被害者遺族講演会を開催しました。



講師の則竹崇智さんのご令息の敬太君は、6年前の集団下校中に横断歩道を渡っている際、スマートフォンゲームを操作していた男が運転するトラックにはねられ、9歳という若さで亡くなりました。則竹さんは敬太君が亡くなってから今ま

での心境、ながらスマホ運転の危険性や厳罰化について、さらにご自身が被った二次被害など様々な観点からお話してくださいました。事故当時敬太君が身につけていた靴や、衝撃で変形した水筒をご持参くださり、事故の悲惨さがよく伝わりました。敬太君の生まれたときからのかわいい写真や「はやく大人になりたい」という手紙も見せていただき、その命の絶たれた残酷さと理不尽さ、ご家族の悲しみと苦しみに、身につまされる思いを禁じ得ませんでした。そして、我々の生活の一部になっているスマートフォンとの付き合い方や法規制の在り方や、ご遺族の二次被害の問題などについても深く考えさせられました。

この講演会は、本学の刑法履修者及び教職課程の学生、その他一般の方や他大学の方にもご参加頂きました。

(法学部 准教授 加藤摩耶)

Topic 9

リフレッシュダンス教室体験会を開催

2022.12.19

本学では、2018年度からリフレッシュダンス教室を行っています。講師は、元高等学校ダンス部の指導者で全国大会や世界大会で数多くの賞を獲得して経験を持つ青山敦子先生と小野陽美先生です。そんなバワフルな先生方が、ダンス未経験者の方でも覚えやすく踊りやすい振付を組み、参加者に笑顔と健康を届けています。



2022年12月19日には、未経験者の方でも参加しやすいように「リフレッシュダンス教室体験会」を開催しました。会には19名の方が参加され、ダンスの魅力に触れていただきました。

最新の情報は、ホームページに掲載しております。体験会以外でもいつでも参加していただけますので、興味のある方はご連絡ください。

(産学官連携センター)

Topic 10

総社市インターンシップ成果報告会

2022.12.26

総社市とは2020年度に包括協定を締結して以来、継続的にインターンシップ生の受入をしていただいています。3年目となる2022年度は、公務員を目指す学生9名の応募がありました。受け入れ先は、事前に学生から希望のあった部署となっており、危機管理室、スポーツ振興課、人権・まちづくり課、認定こども園など多岐にわたります。7月28日(木)に開講式が執り行われ、その後8月上旬から9月下旬にかけて、インターンシップが行われました。



12月26日(月)には、総社市総合福祉セ

ンターで、インターンシップ成果報告会が執り行われました。三好産学官連携センター長から「昨年度は、緊急事態宣言と重なりインターンシップが1日しかできなかった学生もいましたが、今年度は無事に全員が全日程に参加する事ができました。お忙しいなか学生を受け入れてくださり、また政策提言の発表の場まで用意いただきましたことに、市長をはじめ総社市職員の皆様に感謝申し上げます」と挨拶がありました。実習生からは「普段の大学生活では体験のできない貴重な体験をし、市の職員の方々が本当に市民を大切に思い業務に当たられているのを感じました」等の振り返りがありました。そして政策提言へ移り、「マイナンバーカードの普及事業」や「防災意識向上のための取り組み」、「通学路の安全啓発活動」など様々な提言がありました。片岡市長から「皆さんは今回の体験をもとに政策提言を行ってください。良い政策には①独創性②わかりやすさ③スピード、が大切だが、1番忘れてならないのが、その政策の奥にいる市民の方々に対して「愛」があるかが大切であり魂を込めて情熱を持って臨まなければならない。知識は心のプレーキとなり、経験に基づく知恵はアクセルとなる。今回の経験を活かし今後様々な場所で頑張っていただきたい」との総括の言葉をいただきました。最後に、片岡市長から一人ずつに修了証書と市長自らが揮ごうした色紙が手渡されました。

(産学官連携センター)

Topic 11

「ベストリーダー2022」受賞おめでとうございます!

2023.1.31

2023年1月31日(火)、図書館2階にて「ベストリーダー2022」の授賞式を執り行いました。「ベストリーダー賞」は、図書館の図書を多く利用し、学力と教養の向上に努めたと認められる学生に贈られる賞です。各学科ごとに1~3位を設けており、16名の学生が受賞しました。



今年度の授賞式も、新型コロナウイルスの影響を鑑みて、少人数で執り行うことになりました。授賞式では、樋口琢人さん(法学部部門 第1位)・庄島匠さん(経済学科部門 第1位)を代表者として、田中康秀附属図書館長より、表彰状および副賞が授与されました。他の受賞者には、郵送にて対応しました。この受賞をきっかけに、しっかりと身につけた読書習慣を継続してもらおうと共に、読書を通じて、知識や価値・世界観を広げ、人間性を高めていただけたらと、図書館員一同願っています。

年々、貸出冊数やラーニングコモンズの利用が増加傾向にあり、学生の学習(研究)意欲の高さに目を見張るものがあります。これからも学習・研究をサポートする立場として、学生が学習(研究)しやすく、居心地がよいと思える図書館づくりをしていきたいと思えます。

(図書課)

『吉備学園コンサート2023』

2023.2.12

令和5年2月12日『吉備学園コンサート2023』が岡山市立市民文化ホールで開催され多くの方にご来場いただき演奏を楽しんでいただきました。

このコンサートは大学生と高校生が連携して演奏会を企画、運営する他に類を見ないコンサートです。
今回は3年ぶりに大学、附属高校のOB、OGも演奏に加わり楽しくにぎやかなステージになりました。



岡山商科大学吹奏楽部 集合写真

第1部では高校生中心の演奏で東京オリンピック2020のテーマソングになった嵐の「カイト」を少人数ながらまとまりのある演奏を、大学生の演奏ではメンデルスゾーン作曲の「真夏の夜の夢」という大曲にチャレンジし見事な演奏を披露しました。他にグリーンミラー楽団の「ムーンライトセレナード」や最近のポップス曲などを演奏し高校生や大学生の若いエネルギーを感じていただけたと思います。

第2部では高校生、大学生、卒業生による総勢50名の大編成により吹奏楽のオリジナル曲、ディズニーの映画曲、映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」メドレーなど幅広いジャンル4曲を演奏し大編成の迫力あるサウンドを楽しんでいただきました。

来年は令和6年2月12日（月・振替休日）に開催予定です。

（吹奏楽部 顧問 石原 憲）

2023年4月始動 「岡山商科大学ベンチャー支援制度」

岡山商科大学では、起業を目指す学生を支援するための制度を創設しました。
「ベンチャー支援金」として100万円を上限に給付（支援期間4年以内）する他、「岡山商科大学発ベンチャー」の称号授与など必要な支援を行います。

応募要件

- ①本学の学生（大学院生含む）に限ります。
- ②グループで応募する場合、代表者が本学学生であり、果たす役割と貢献度が大きいことが必要です。
- ③応募にあたっては、本学の推薦する自治体又は民間のイノベーション・コンテストにエントリーする必要があります。
- ④活動その他に関して、本学の教育・広報活動に協力いただきます。

詳しくはベンチャー支援制度に関するチラシをご覧ください。

（産学官連携センター）



ベンチャー支援制度 2023年4月始動。

岡山商科大学では、起業を目指す学生を支援するため、100万円を給付する制度を創設しました。

■対象者
①本学の学生（大学院生含む）に限ります。
②グループで応募する場合、代表者が本学学生であり、果たす役割と貢献度が大きいことが必要です。
③応募にあたっては、本学の推薦する自治体又は民間のイノベーション・コンテストにエントリーする必要があります。
④活動その他に関して、本学の教育・広報活動に協力いただきます。

■支援内容
①ベンチャー支援金（100万円）を上限に給付します。支援期間4年以内とします。
②「岡山商科大学発ベンチャー」の称号を授与します。
③その他、必要に応じて本学の施設・設備の貸与や、学内でのイベントでの出展などの支援を行います。

■お問い合わせ
産学官連携センター TEL 086-252-0642 内 E-mail: sankagaku@u.ac.jp

エッセー
数珠つなぎ

物乞いと与える喜び

経営学部 商学科 准教授 杉本 敦

ルーマニアで牧畜民の研究を始めて15年以上経ちます。何度も現地に足を運んできましたが、その度に困惑させられるのが物乞いです。薄汚れた服を着た老人やロマが目の前を塞ぎ、手を突き出してくるのです。しばらく付きまとわれることも珍しくありません。根負けしてお金を少し渡せば離れていくのですが、どこか納得がいかないのです。

文化人類学者の松村圭一郎さんは、エチオピアで同じような経験をしたそうです。こうしたとき多くの日本人は「なににもあげない」ことを選ぶそうですが、それは私たちが「交換のモード」に縛られているからだと言います。松村さんは指摘します。物乞いが私たちのために何かをしてくれるわけでもないのだから、彼らにお金を与える理由はないというわけです。

しかし、ルーマニアの人々は頻りに物乞いにお金を渡します。親しくしていた老人にその理由を尋ねると、「相手より持っているから」と当たり前のように答えたことがありました。そこには見返りへの期待や損得の計算などありません。この老人の姿は、私の大学院時代の恩師と重なって見えます。非常に厳しい先生でしたが、懇切丁寧に粘り強く指導してくれました。飲み込みの悪い私に苛立ったことも一度や二度ではないはず。彼は、酒の席で、学生たちに酒をつぎながら「与える喜び」と満足げに笑みを浮かべることがありました。今にして思えば、彼にとっては教育も同じことだったのかもしれない。

時を経て私も教える立場になったわけですが、交換のモードに縛られているのではないかと自省することも多くあります。ついつい単位や「将来の役に立つ」といった「対価」を強調してしまうのですが、それが無いと学生は何もしないという思い込みがあるのならば、それも問題でしょう。いずれにせよ教育には学生の「学びたい」という気持ちが欠かせません。教員の与える喜びがそれを刺激できるのか。精進の日々です。

参考文献 松村圭一郎『うしろめたさの人類学』ミシマ社

第57回商大祭「Re:~Find Yourself~」

2022.12.10-11

2022年12月10日(土)、11日(日)の2日間、第57回商大祭が開催されました。目玉は、1日目、声優・堀江瞬トークショーと2日目、reGretGirlによるアーティストライブ。その他、岡山県警音楽隊によるパフォーマンス、その他、弓道体験、吹奏楽や軽音楽のステージ演奏、高校生による販売実習も行われました。ビンゴ大会やプレゼント抽選会なども大いに盛り上がり、模擬店やキッチンカーの出店や、射的も大好評でした。

一大学祭実行本部から一

昨年度はオンライン開催だったため、対面での実施は3年ぶり、そして一般の方々にもたくさんご来場いただきました。コロナの影響によ



り本来の10月開催より延期となり寒さが強くなる12月上旬、天候にも恵まれ、たくさんの方に足を運んでいただきました。

今年のテーマは『Re:~Find Yourself~』。青春を取り戻そうというコンセプトを元に、「今までに当たり前に送っていた青春をもう一度」という願いが込められています。コロナ禍により大学での行事がなくなり、入学前に思い描いていた大学生活を送れていない学生にとって、学ぶ場だけでなく、交流を深め楽しむ場としての大学の一面を知って貰う機会になったと思います。

普段の授業では見ることができない学生の笑顔や学生同士で交流をしている姿を見ること、そして何よりも「楽しかった」という声を聞くことができ開催してよかったと心から感じています。第57回商大祭開催に伴いご協力していただいた学生、教職員の皆さま、そしてご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



ユニセフ展示「戦火の中のウクライナの子供たち」とフェアトレード物品販売

2022.12.10-11

岡山ユニセフ協会のご協力で、大学祭で「戦火の中のウクライナの子供たち」の写真を学生会館1階で展示しました。戦火の中でウクライナの子供たちに遊びと学習の場を提供するユニセフの活動を、地下鉄構内に避難して学習を続ける子供たちの姿とともに紹介しました。他にも、家族と別れて他国に避難する子供たち、爆撃で破壊された学校、命を落とした子供たちの象徴として広場に並べられた乳母車の写真などを展示しました。

展示とともに、フェアトレード製品の販売も行いました。フェアトレードの食品の他に、ネパールの女性の就労支援と子供の学習支援をするネパールダフェの山ガールと雪男のフェルト人形、地雷やポリオによる女性の障害者の就労支援を行うカンボジアのCHA (Cambodi-

an Handicraft Association offers women disabilities)のシルクネックレス、セネガルの人々と対等な関係でものづくりをするジャムタン(jam tun)の布製品を販売しました。大学祭での売り上げの一部はユニセフに寄付され、子供たちの支援に使われます。残りは各団体に届けられそれぞれの活動に活用されます。卒業生や近隣の方々、保護者の方々、学外の方にもご来場いただきました。大学祭が世界をよりよい場所に



する小さな一歩になるといいですね。(経営学部 教授 松浦美佐子)

「楽しい大学生活を過ごそう」企画

2022.6.11~

2020年から続くコロナ禍において、経済支援は数多くありましたが、対面での仲間づくりのための支援は少なく、なかなか新しい友人ができない学生が見受けられました。そこで、2022年度から新たに、制約があるものの感染対策をし、仲間づくりのために一人でも気軽に参加できる日帰り旅行の企画を学生課で始めました。

2022年6月11日の大原美術館と倉敷美観地区散策を皮切りに、毎週土曜日に企画募集しました。企画内容の中には、グループでのそば打ち体験や岡山市に本拠地を置き、全国で活動する木下大サーカスの鑑賞、2010年から3年ごとに開催されている瀬戸内国際芸術祭への参加も行いました。そして、J2のファジアーノ岡山の試合観戦では、声をだして応援はできませんでしたが、拍手で選手をたたえました。鳥取県の砂の美術館の見学では、「砂」を素材にした彫刻作品はと

ても美しくとても感動した、との声が聞かれました。

2022年度の学外研修旅行は、19回開催し参加のべ人数123人と決して多い人数ではありません。学生が集まらず中止になったものや募集後すぐに定員に達した企画もあり企画の難しさを感じたこともありましたが、しかしながら、岡山県やその周辺の観光地や物産を知り、体験し、学生が相互に触れ合う機会となることを目的として2023年も続けていきたいと考えています。

(学生課)



資格試験の合格について

2022年度も多くの学生が資格試験に挑戦し、難関資格の合格者も多数出ています。

司法書士試験に法学部法学科の4年生1名が合格しました。司法書士試験の合格率は5.2%(今回)の難関であり、在学中での合格は極めて栄誉なことといえます。同学生は同時に宅地建物取引士試験にも合格しています。

税理士試験には4名が科目合格しました。経営学部経営学科の4年生1名が消費税法に合格し、昨年度合格した簿記論と財務諸表論をあわせて、税理士に必要な5科目のうち3科目に合格したことになります。また、経営学部経営学科の他の4年生1名が簿記論と財務諸表論の2科目に合格しています。他の経営学部経営学科4年生1名、経営

学部商学科4年生1名はそれぞれ1科目に合格しました。

宅地建物取引士試験には前出のほか、法学部法学科の4年生1名、3年生1名、経済学部経済学科の4年生1名、経営学部経営学科の2年生1名の計5名が合格しました。

IT系の資格ではMicrosoft Office Specialistエキスパート(365 & 2019)に経営学部商学科の4年生1名が合格しています。

ほかにも、FP技能検定や日商簿記検定の合格者も多く、両者は2級の難易度が高くなっていますが、しっかり対策を取った学生は合格に結びついています。

商大塾では資格取得に向けた学生の支援を行っていますので、いつでもご相談ください。(産学官連携センター)

キャリアセンター便り

2023年3月卒学生の就職活動を振り返って

2023年3月卒学生の就職活動は新型コロナウイルスの影響を受けて3年目を迎え、オンラインを活用した就活様式からウィズコロナスタイルの就職活動となった年でありました。

企業の広報活動開始を目前に控えた2022年2月、感染拡大の第6波が到来したことで若干不安を感じる就職活動のスタートでありました。しかし、4月にリクルートワークス研究所は2023年3月卒の大卒求人倍率が昨年から0.08ポイント上昇の1.58倍であると発表しました。また、日本経済新聞には中国5県の主要企業を対象に行った採用計画調査で、新卒採用を昨年より増やすと回答した企業が、前年に比べ18ポイント高い56%となった結果が掲載されました。広報活動解禁（3月）以降、コロナ禍は依然として続いていましたが、多くの企業がコロナ後を見据えて採用枠を広げるなど、採用意欲の回復傾向が見られるようになりました。実際に企業は2023年3月卒学生を対象としたインターンシップを前年度から活発に実施し、これに参加した学生を早期選考に呼び込む動きが見受けられました。本学でもこの動きに合わせて、就職活動をスタートした学生もいたようです。

このような企業側の動きから、就職活動の早期化、内定出しの早期化を想定しましたが、意外にも本学では例年と変わりはなく、5月末の就職内定率は41.7%と昨年同時期に近い数字でありました。多くの企業がオンラインからハイブリッドもしくは対面採用に切り替えたことで、コロナ禍の最初の2年間よりも採用活動が慎重に行われたのではないかと考えています。学生は早い時期から企業と接触したにもかかわらず選考過程が長期に渡ってしまったので、序盤戦は精神的に苦勞したのではないかと思います。

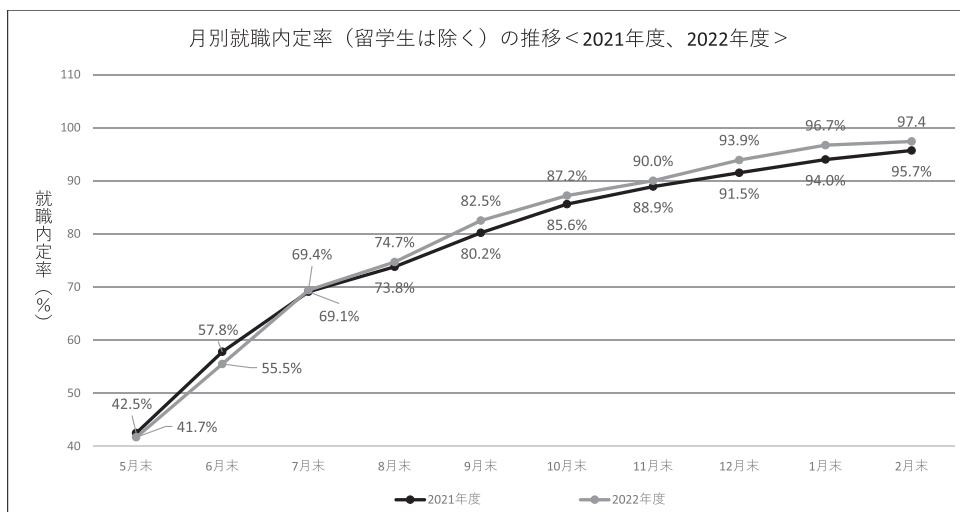
夏休みを目前に感染拡大の第7波が到来しましたが、政府の方針転換により社会経済活動制限がされなかったため、就職活動に大きな影響はありませんでした。本学が感染対策を継続しながら重点的に取り組んだことは、学内単独企業説明会の開催でした。コロナ禍以降、大規模な学内合同企業説明会を開催で

きていないことから、1日2社限定の単独企業説明会を繰り返し開催しました。企業の採用担当者の方へ積極的な呼び掛けを行い、4月から就活中盤戦の9月までに64社の説明会を開催したところ、延べ235名の学生が参加しました。これによって採用担当者と学生が対面で会話する機会を増やすことができたことと実感しています。

今年度は正式内定解禁日である10月1日以降も、多くの採用担当者の方が内定辞退による追加募集の案内で来学されました。学生が本命企業の受験前に早期選考を実施する企業を受験していたことが、内定辞退の増加に繋がったのではないかと思います。キャリアセンターではこの機会を逃がさないよう追加募集の情報を学生個々に提供し、少しでも興味を持つ学生がいれば、本学から採用担当者の方へ連絡して学内での説明会開催をお願いしました。こうした取り組みの積み重ねによって、年末年始の第8波感染拡大に影響を受けることなく就職内定率は順調に推移しました。

本学の2月末現在の就職内定率は下のグラフが示すように97.4%であり、昨年を若干上回ることができました。このような内定率を維持できたのは、企業の採用意欲が回復した影響もありますが、やはり学生一人ひとりが感染拡大の波を乗り越えながら、危機意識を持って就職活動に取り組んだ結果だと思っています。

月別就職内定率（留学生は除く）の推移＜2021年度、2022年度＞



Asia Report アジアレポート

孔子学院便り(2022年度活動報告)

岡山商科大学孔子学院は、2007年6月12日に「中国孔子学院本部」から設置が認可され、同年11月25日に中国側協定大学である大連外国語大学と業務提携調印式並びに開設式を執り行い、今年度は設立15周年を迎えました。2020年6月19日に、孔子学院の所属は「中国孔子学院本部」から「中国国際中文教育基金会」という中国の関係大学、企業、民間団体が共同で設立した組織に移行しました。そして、2022年12月6日付で「岡山商科大学と大連外国語大学『岡山商科大学孔子学院』に関する業務提携協定書」が更新され、2022年12月26日付で「中国国際中文教育基金会、中国大連外国語大学と日本岡山商科大学が孔子学院を共同で設置することに関する協定書」が署名されました。

2022年9月29日に日中国交正常化50周年の節目を迎えましたが、これを記念して本学院では、中国文化講座や中国経済講座を実施しました。さらに、本学院設立15周年記念行事として中国伝統文化講座を開催しました。その他、中国語講座、ラジオ中国語講座、中国語教育研究会、中国語作文コンテスト、中国語スピーチコンテスト、中国文化サロンなど年間を通して数多くの事業を展開しました。（孔子学院長 黎 曉妮）



中国文化講座(2022.7.30)



中国経済講座(2022.9.23)



中国伝統文化講座(2022.11.26)

2022年度サークル活動戦績

2022年度はコロナでの大会の制限も緩和され、多くのサークルが大会に出場し優秀な成績を収めることができました。ここでは優秀な成績を残したサークルの一部を紹介します。

硬式野球部が中国地区大学秋季リーグ1部・2部入れ替え戦で2勝1敗と勝ち越し、念願の1部昇格を決めました。またサッカー部も岡山県学生サッカーリーグで全勝優勝を果たし、1部昇格を決めました。両サークルの1部での活躍を期待したいです。

陸上競技部が6月に開催された第76回中四国学生陸上競技対抗選手権大会において、男子100m走優勝、男子4×100mRで準優勝し、天皇賜盃第91回日本陸上競技対抗選手権大会に出場しました。本大会での経験を活かし、来年度以降も活躍してほしいと思います。

卓球部が8月に開催された第73回中国学生卓球選手権秋季大会において男子団体戦優勝、女子団体戦準優勝、個人種目においても上位進出し、第88回全日本大学総合選手権大会に9名出場しました。本大会では強豪校の選手相手に健闘しましたが、上位進出することはできませんでした。来年度は全国大会で上位進出できるように練習していきたいと思います。

その他にも第77回国民体育大会に陸上競技部2名、柔道部2名、ボウリング部2名が各県の代表として出場しました。第75回、76回大会が中止となり3年ぶりの開催となった国民体育大会でした。国民体育大会に出場することは非常に名誉あることなので、大会での経験を活かし、来年度以降活躍してほしいと思います。

最後に2022年度は陸上競技部、ゴルフ部、弓道部、剣道部、卓球部、柔道部、ボウリング部が厳しい予選を突破し全国大会に出場を果たしました。その他サークルも各大会で優秀な成績を収めることができました。大会に出場し優秀な成績を残すことができるのは多くの方の支援あってのことです。支えてくださる方々に感謝し、2023年も活躍できるよう学生、指導者とも精一杯活動していきます。

サークル名	氏名	学年	大会名	種目 種別 階級等	結果	出身校
弓道部	南 昂聖	3年	第68回中四国学生弓道選手権大会	男子個人	最高の 中者賞 優秀射 士賞	岡山南高校(岡山)
	南 昂聖	3年	第68回東西学生弓道選抜対抗試合 ※西軍 東海地方 ～沖縄地方 の代表選手	団体(西軍代表)	準優勝	岡山南高校(岡山)
			第54回中国学生弓道競技大会	男子団体	優勝	
	川合 絢子	2年		女子個人	準優勝	岡山南高校(岡山)
	南 昂聖	3年	第66回西日本学生弓道選手権大会	男子個人	皆中賞	岡山南高校(岡山)
	小見山愛未	2年		女子個人	優秀射士賞	明誠学院高校(岡山)
	剣道部	大橋 拓真	4年	2022年度全日本学生剣道選手権大会	男子個人	出場 倉敷高校(岡山)
硬式野球部				団体	優勝	
	河野 翔夢	4年		個人	最高殊勲 選手賞	八幡浜高校(愛媛)
	赤松 泰知	2年		個人	首位打者賞 ベストナイン (外野手)	近畿大学附属広島高校(広島)
	柴田 陽	2年		個人	ベストナイン (投手)	倉敷工業高校(岡山)
	児玉匠一朗	2年	2022年度中国地区大学野球 秋季二部リーグ戦	個人	ベストナイン (二塁手)	尾道高校(広島)
	祐森 翔	2年		個人	ベストナイン (三塁手)	岡山商科大学附属高校(岡山)
	繁光 力輝	1年		個人	ベストナイン (遊撃手)	広島新庄高校(広島)
	野瀬 隆司	2年		個人	ベストナイン (外野手)	開星高校(島根)
			2022年度中国地区大学野球 秋季二部リーグ戦入替戦	団体	通算成績 2勝1敗 一部昇格	
			2022年度中四国学生ゴルフ春季 1部校対抗戦	男子団体	準優勝	
ゴルフ部			令和4年度中四国学生ゴルフ連盟 秋季一部校対抗戦	女子団体	準優勝	
				男子団体	準優勝	
	田口 咲春	4年	第47回中四国学生ゴルフ選手権大会	女子個人	優勝	明徳義塾高校(高知)
	田口 咲春	4年	第41回中四国学生ゴルフ連盟会長 杯争奪戦	女子個人	準優勝	明徳義塾高校(高知)
			常陸宮紀杯第1回全日本女子大学 ゴルフ選手権	女子団体	出場	
サッカー部			2022年度岡山県学生サッカーリーグ2部	団体	優勝 一部昇格	
日本拳法部	荻野 光輝	1年		一般男子の部	優勝	関西高校(岡山)
	武田 希美	4年	日本拳法徳島県総合選手権大会	一般女子の部	準優勝	倉敷商業高校(岡山)

サークル名	氏名	学年	大会名	種目 種別 階級等	結果	出身校
柔道部			2022年度全日本学生柔道体重別 選手権大会	個人	男子17 名出場	
			2022年度全日本学生柔道体重別 団体優勝大会	団体	男女出場	
			2022年度全日本学生柔道優勝大会	団体	男女出場	
			2022年度全日本ジュニア柔道体 重別選手権大会	個人	男子2 名出場	
			中四国学生柔道体重別選手権大会	個人	男子5階 級制覇	
	南波 大成 橋 直希	2年 2年	2022年度全日本ジュニア柔道体 重別選手権中国地区予選会	73kg級 66kg級	優勝 優勝	開星高校(島根) 倉敷工業高校(岡山)
卓球部			第88回全日本大学総合卓球選手権 大会(個人の部)	男子ダブル ルス 男子個人 女子ダブル ルス 女子個人	2チー ム出場 3名出場 2チー ム出場 3名出場	
			第91回全日本大学総合卓球選手権大会	団体	男女出場	
	瀬良 太一	1年	第17回全日本学生選抜卓球選手権大会	個人	出場	
				男子団体	優勝	
	高柳 玲 岩本 翔希	2年		男子ダブル ルス	優勝	都城商業高校(宮崎) 早稲高校(山口)
	清水 真梨 丸川真輝帆	2年 1年	第73回中国学生卓球選手権大会春季大会	女子ダブル ルス	優勝	岡山県商業高校(岡山) 就実高校(岡山)
	木村 麻希	4年		女子シング ルルス	優勝	岡山商科大学附属高校(岡山)
	男子バスケ ットボール部		第14回中国大学バスケットボール 新人大会	団体	男子Aブ ロック優勝	
				団体	準優勝	
	山根 耕太 海透 佑也 馬場 海斗	3年 3年 1年	2022年度西日本地区学生軟式野球 1部秋季リーグ戦	個人 個人 個人	ベストナイン (投手) 最優秀 投手 敢闘賞	明誠学院高校(岡山) 松江商業高校(島根) 神辺旭高校(広島)
ボウリング部			第60回全日本大学ボウリング選 手権大会	男子団体 女子団体	4位 6位	
	小松 侑誠	2年	関東学連盟争奪ボウリングトーナメント	2人チーム戦	優勝	クラーク記念国際 高等学校(兵庫)
陸上競技部	林 頼人 林 頼人 松浦 大雅 福田 亮太 兼清 駿	4年 4年 2年 3年 1年	第76回中四国学生陸上競技対抗 選手権大会	100m 4×100mR	優勝 準優勝	松江工業高校(島根)
	藤木 海斗	2年	第45回中四国学生陸上競技選手権大会	1000mW	優勝	高松農業高校(岡山)
	林 頼人	4年		100m	出場	松江工業高校(島根)
	林 頼人 松浦 大雅 福田 亮太 田中 統也	4年 2年 3年 2年	天皇賜盃第91回日本学生陸上競 技対抗選手権大会	4×100mR	出場	

(学生課)

創立60周年記念事業 岡山商科大学躍進募金 寄付者芳名

岡山商科大学躍進募金へご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

募金をいただいた皆様へ深く感謝の意を込めまして、ご芳名を掲載させていただきます。

募金者の顕彰について

1	1万円以上	本誌に氏名公表
2	10万円以上	銘板を設けてご芳名を記載し、末永く顕彰させていただきます。
3	100万円以上	銘板での顕彰等のほか、感謝状贈呈
4	500万円以上	銘板での顕彰等のほか、特別感謝状贈呈

寄付者芳名の掲載について

・2022年7月1日～2023年2月28日にご寄付をいただいた方々を掲載させていただいております。(五十音順)

・誠に恐縮ではございますが、お名前がもれている等、その他お気づきの点がございましたら、岡山商科大学躍進募金事業委員会事務局までお知らせください。

◇法人

3,000,000円

旭電業株式会社 様
株式会社ミツボシ 様

1,000,000円

岡山ガス株式会社 様
税理士法人パートナーズ 様

500,000円

不二サッシ株式会社 様

100,000円

株式会社石崎本店 様
株式会社オフィスサポーター 様
草加機材株式会社 様
下津井電鉄株式会社 様

100,000円未満

株式会社山陽保険センター 様

◇個人(一般)

1,000,000円

吉井 幸徳 様

300,000円

徳山 正一 様

100,000円

今井 基博 様
浮田 義鷹 様
内野 祐司 様
大石橋 巧 様
佐伯 颯真 様
徳永 一郎 様
永井 勝也 様
沼田 洋志 様
橋田貴洋子 様
橋田 満樹 様
林 勢津子 様
藤縄 直人 様
藤本 敏弘 様
森田 健司 様

山口 忠 様

渡部 泰典 様

50,000円

坂本 光潤 様

中島 正夫 様

50,000円未満

青景 臣昭 様
赤田 博文 様
浅 敏昭 様
荒堀 道弘 様
有富 絹 様
池田 真治 様
石野 桂三 様
石橋 英児 様
市川 俊美 様
一色 泰典 様
伊藤 正秀 様
岩佐 宜泰 様
右近 徳博 様
江藤 弘康 様
江野 峰隆 様
大内 則彦 様
太田 紀文 様
岡橋 誠治 様
奥田 右文 様
鹿島 博司 様
狩谷 弥央 様
河井 敏行 様
木村 芳郎 様
久世 一郎 様
倉内 敏和 様
栗原 弘美 様
駒居 善晴 様
是則 収 様
近藤 博文 様
近藤 誠祐 様
定丸 義輝 様

佐藤 厚志 様

篠森政秋(故 俊秀) 様

島津 義昭 様

須賀 親広 様

菅形 基道 様

隅田 勝幸 様

造力 智宏 様

高尾 哲治 様

高崎 司公 様

田口勇希人 様

垂水 正和 様

月守 保 様

寺尾 峰子 様

中島 亨 様

中塚 美幸 様

中元 章 様

二井 敏樹 様

新谷 修一 様

西 則昭 様

西井 祥充 様

西口 巧真 様

西山 徹 様

二又 明子 様

沼丸 亮二 様

野崎 英一 様

野島 健司 様

林 幹男 様

原田 淳 様

(有)ピーアンドピー 様

平賀 伸明 様

平田 一茂 様

平田 友志 様

広田 満 様

藤井 和則 様

藤田 裕子 様

藤田 雅士 様

藤本 精一 様

古川 昇 様

前田 裕一 様

増田 俊文 様

増野 光泰 様

松田 晋治 様

松永 輝之 様

三谷 幸雄 様

宮岡 清容 様

三宅 常男 様

三宅鉄太郎 様

三宅亜津志 様

三宅 修 様

宮地 玄 様

宮田 靖彦 様

村田 忠義 様

毛利 陽二 様

森谷 博幸 様

森原 弥央 様

八木慎一郎 様

矢野 貴子 様

山上 準也 様

山口 隆志 様

山崎 貴子 様

山磨 清統 様

山本善治朗 様

山本 了史 様

和田 憲尚 様

渡邊 泰行 様

匿名 12名

計4,176,000円

学園関係者(学園理事、監事、教職員、その他)

計4,210,000円

募金についてのお問い合わせ先

学校法人吉備学園 岡山商科大学躍進募金事業委員会事務局

〒700-0087 岡山市北区津島京町2丁目10-1

TEL.086-252-0642 FAX.086-255-6947 E-Mail:kouhou@po.osu.ac.jp

●ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで E-Mail/kouhou@po.osu.ac.jp

発行所

岡山商科大学
〒700-0087 岡山市北区津島京町2丁目10-1
電話(086)252-1064(代)

印刷

山陽印刷株式会社